

インターネットは、私たちの生活を豊かにする道具である反面、使い方を間違えたり悪意をもって使うことで、インターネット上での人権侵害が発生したり、社会的にも大きな影響を及ぼしたりする場合があります。

例えば、不特定多数の人に匿名で大量の情報発信ができるインターネットの特性を悪用して、他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する書き込み、プライバシーの侵害、差別を助長するような表現など、個人情報流出などが挙げられます。

## 『その書き込み、

## 大丈夫ですか？』

インターネットの向こう側にも人間がいます。

顔が見えないからこそ、相手の人権を尊重することを忘れずに！

市内の小・中学校では、インターネットでのいじめ防止に向けた教育や啓発を行っています。



インターネットは、私たちの生活を便利なものにし、今では私たちにとってとても身近な存在になっていきます。

情報の収集・発信における個人の責任や情報モラルについて理解し、節度ある利用をすることが大切です。



トラッピー

ハートラ